

2005年12月号 真実と向き合う～正義をもって大量虐殺を裁くために

NI No.385 December 2005
The Search for Truth - justice after genocide

< 内容 >
(本文は英語です)



犯罪と裁き

虐殺を経験した国々は、どのようにしてそのトラウマと向き合い、そして立ち直っていくのだろうか。整備されつつある国際的な司法制度について報告する。

虐殺の記憶

スーダンのダルフルの虐殺から逃れてきた子どもたちが描く絵は、その惨劇の模様を浮き彫りにしている。

真実究明委員会とは何か

真実究明委員会を設置すれば万全というわけではない。できることとできないことを区別し、その特徴をよく知る必要がある。

帰らぬ人を忘れない

誘拐・拘束され、いまだに多くの人々が行方不明のままになっているアルゼンチン。行方不明者が最も多い町ペインに記念碑が建てられた。

ジョージ・ブッシュの順番はいつか？

ジョージ・ブッシュが犯した数々の人道に対する罪も裁かれる日が来るだろう。

憎しみと再生

アルゼンチン当局に拘束された母親が収容所で産んだ息子。20年以上も真実を知らないまま他人に育てられてきた彼は真実を突き止め、第二の人生が始まった。

真実を求める闘い

カンボジア、日本(中国・朝鮮)、グアテマラ、東ティモール、アルメニアで起きた残酷な出来事と、真実をめぐる状況について。

母親の勇気

スレブレニツァの虐殺で家族を失った母親たちの真実を求める声。

コミュニティーの司法制度

コミュニティーの住人が中心となって裁判を行うルワンダのガカカ制度の成果と課題について。

エルサルバドルの真実と米国製ファンタジー

冷戦時代の米ソ覇権争いに巻き込まれ、激しい暴力の渦中に置かれたエルサルバドル。自らの歴史を見つめ直そうとしている時に、米国はその歴史を都合良く解釈して利用している。

犯罪者には裁きを

2002年4月に創設された国際刑事裁判所の目的と課題とは。

その他、世界の情勢を伝えるニュースやレポートも掲載

NI (英語版、A4・カラー、約40ページ) と日本編集のNIジャパン(日本語、A4・モノクロ、12ページ)をセットでお届けします。

【年間購読(1・2月号は合併号のため年11回発行)】

1年間 10,500円(送料、消費税込み)

2年間 19,000円(送料、消費税込み)

【お試し用最新号またはバックナンバー】

1,000円(送料、消費税込み)

人類の歴史を振り返れば、実にさまざまな方法でジェノサイドが行われてきた。通常その加害者たちは、罪に問われることもなく恵まれた隠居生活を送ってきた。しかしいくつかの国々において、そのような者たちに裁きを求める声が上がリ、少しずつその成果が現れている。国際刑事裁判所などの国際機関も、以前は罪を逃れていたような独裁者たちに対して追及を始めている。今月のNIは、人道に対する罪を犯した者たちを裁く最近の試みについて報告する。

NIジャパン No.73 2005年12月号

真実と向き合う

-正義をもって大量虐殺を裁くために-

< 内容 >
(本文は日本語、一部英語です)

< NI本誌記事の翻訳 >

犯罪と裁き (NI p2-5の翻訳)

真実を求める闘い (NI p12-14の一部翻訳)

< Contact Points >

女性と戦時暴力、南京大虐殺、アイヌ民族、日中関係の各問題に取り組む団体の紹介。

< Information >

次号のご案内、NIカレンダー販売店情報、編集後記など。

< Country Profile >

「世界の国のプロフィール
アフガニスタン」

(NI p36の翻訳)



* ホームページでは、購読お申し込みやバックナンバー照会、無料メールマガジン申し込み等がご利用頂けます。



< お問い合わせ・お申し込み >

有限会社インティリンクス

〒193-0843 東京都八王子市廿里町46-2

Tel / Fax : 0426-29-4863

E-mail : info@ni-japan.com

URL http://www.ni-japan.com/